

スポーツが人の輪を「つなぐ」

2004年に新城市生涯スポーツ振興計画「元気いっぱい 笑顔あふれるまち」が策定されて10年が経過しました。総合型地域スポーツクラブの設立、スポーツ指導者の育成、自然条件を生かしたスポーツの振興等、新城のスポーツ環境が整えられてきました。

今回、策定された新城市生涯スポーツ振興計画「人の輪を広げ 健やかな心と体を育むまち」では、スポーツが人の輪をつなぐ役割を果たしてくれるという思いが込められています。また、社会の変化の中でゆるやかにつながりあうことが安心した生活を支えることになるとも考えました。これからの10年は、新城で育ててきた魅力的なスポーツ活動の輪を並べたり重ねたり、いろいろなつなぎ方を積極的に考えてほしいと思います。

懇談会では、0歳の子供が10年後にスポーツ・運動が大好きな小学生に成長をしている姿、12歳の小学生が成人し新城のスポーツ・諸活動に関わっている姿、定年を迎えた65歳の方が10年後に自立した生活を送る姿、スポーツ活動の運営やお世話もスポーツ活動として広がることを思い描きながら検討しました。新たに幼児期からの体を動かす習慣の定着、高齢者の増加に伴う健康づくりの振興、自然との触れ合いを求めて多くの人を訪れるようなスポーツ振興、スポーツを支える人材の育成、計画の中間点検を提案させていただきました。

2020年には、日本が開催国となる東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。心に刻まれるオリンピック・パラリンピックの選手の姿、海外から多くの方を受け入れるおもてなしなど開催国としてスポーツを身近に感じることもできる機会でもあります。特別なオリンピックの経験が新城のスポーツの輪を進化させてくれることと思います。

最後に新城市生涯スポーツ振興計画「人の輪を広げ 健やかな心と体を育むまち」の策定にご尽力いただきました策定懇談会、策定委員会ならびに学校体育・社会体育・体育環境部会の各作業部会の皆様に感謝を申し上げます。また、各委員会の意見調整やまとめに大変ご苦勞をいただいた新城市教育委員会スポーツ課の皆様にお礼を申し上げます。

新城市生涯スポーツ振興計画策定懇談会

座長 岡本 浄実